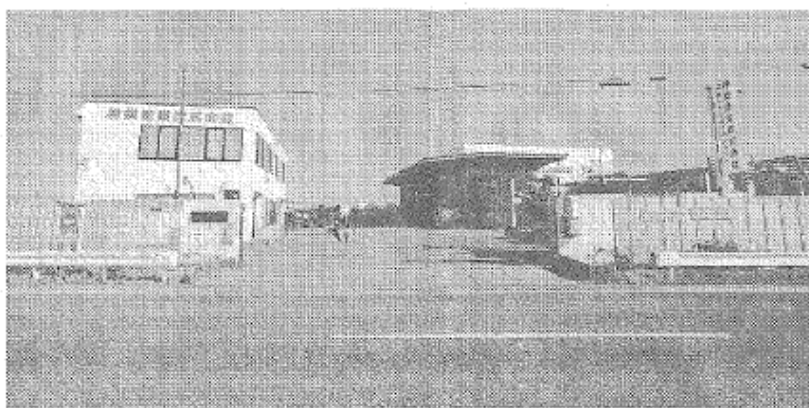


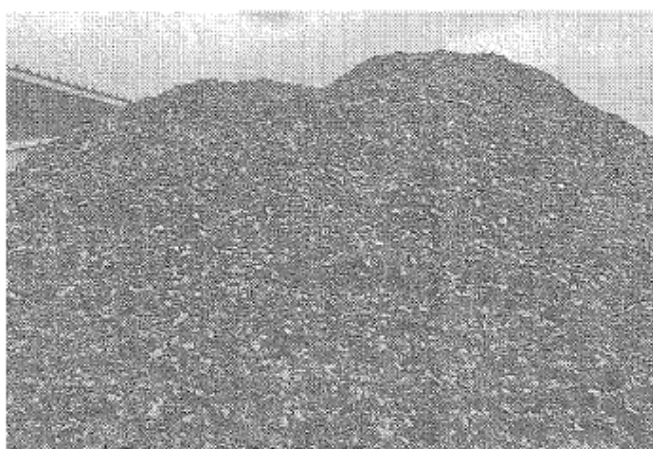
## 神鋼産業

勢原市、清水孝一社長、  
0463・91・3  
663)はこのたび、  
神鋼産業(神奈川県伊



神鋼産業工場全景

## タイヤチップは需要減



納入先を探すタイヤチップ

## 廃タイヤの受入量増加

勢原市、清水孝一社長、  
0463・91・3  
663)はこのたび、  
神鋼産業(神奈川県伊  
らかにした。今年の4  
月から8月までの受入  
量は前年度比で、廃タ  
イヤで3%、ゴム加工  
品で11%増加してい  
る。その一方で、タイ  
ヤチップの需要は前年  
度比で15%減少してい  
る。同社は増える処理依  
頼に対応できる能力を  
拡充し、燃料利用以外  
の方策としてゴムの用  
途開発に活路を求めて  
いる。  
免震ゴムの処理技術  
に係る特許を取得して  
いるため、それらの処  
理を求める声が全国か  
ら上がっている。ゴム  
クロールなど、ゴム加  
工品を多種にわたって  
受け入れることができ  
る。現在ではゴム加工  
品だけで月間300ト  
ンを受け入れていて、同  
社に寄せられる期待の  
声は大きい。  
清水社長は、「昨今  
では、廃タイヤの処理  
業者がタイヤチップの  
新たな燃料利用先を探  
す状況が全国的に起こ  
っている。製紙業界が  
減産傾向にある中で、  
昨年来の中国による固  
体廃棄物輸入規制の影  
響で、廃プラやRPF  
などの燃料利用できる  
ものが国内に潤沢に存  
在する。タイヤのリサ  
イクルチェーンを中間  
処理以降の段階で切ら  
さないために必要な努  
力を今後も継続する  
が、個社単位では難し  
い面があるのは否めな  
い。今後起こる可能性  
がある問題を未然に防  
ぐには、業界として方  
向性を定めた対処や、  
行政側の協力が必要に  
なる場面も想定され

## 物理的な処理困難にひっ迫

持っていて、社会全体  
での廃タイヤの適正処  
理を推進するために、  
現在も工場全体を最大  
限に稼働している。古  
くから付き合いのある  
納入先がタイヤチップ  
を受け入れているた  
め、廃タイヤの再資源  
化ルートを保つことが  
できているという。  
1日当たり約1万本  
のタイヤを処理してい  
て、生産したタイヤチ  
ップは燃料代替として  
主に製紙工場向けに販  
売。現在は、現状を打  
破するためにタイヤチ  
ップのさらなる販路の  
拡大と、燃料利用以外  
の方策としてゴムの用  
途開発に活路を求めて  
いる。  
免震ゴムの処理技術  
に係る特許を取得して  
いるため、それらの処  
理を求める声が全国か  
ら上がっている。ゴム  
クロールなど、ゴム加  
工品を多種にわたって  
受け入れることができ  
る。現在ではゴム加工  
品だけで月間300ト  
ンを受け入れていて、同  
社に寄せられる期待の  
声は大きい。  
清水社長は、「昨今  
では、廃タイヤの処理  
業者がタイヤチップの  
新たな燃料利用先を探  
す状況が全国的に起こ  
っている。製紙業界が  
減産傾向にある中で、  
昨年来の中国による固  
体廃棄物輸入規制の影  
響で、廃プラやRPF  
などの燃料利用できる  
ものが国内に潤沢に存  
在する。タイヤのリサ  
イクルチェーンを中間  
処理以降の段階で切ら  
さないために必要な努  
力を今後も継続する  
が、個社単位では難し  
い面があるのは否めな  
い。今後起こる可能性  
がある問題を未然に防  
ぐには、業界として方  
向性を定めた対処や、  
行政側の協力が必要に  
なる場面も想定され

工場系・使用済み製品・金属類